

出前中堅教員サポート塾

10月16日に館山市では「全国学力・学習状況調査について」、11月20日に野田市では「校内研究（研修）の進め方について」の出前中堅教員サポート塾を開催しました。

ペアやグループでの協議・演習を行う中で、活発な意見交換が見られました。以下、参加者の感想を紹介します。

館山市（令和6年10月16日）参加者13名

当日の様子と参加者の声



S-P表については、演習を通して学ぶことができたので、しっかり理解することができました。早速、自校の分析をし、改善に役立てたいと思いました。



改めて自校の結果を見直したいと思いました。課題だけでなく、成果を上げている取組も洗い出し、学校として継続した取組ができるようにしたいです。



個人の結果も大切ですが、集団として結果をみたときに、教える側にどのような課題があるのか、きちんと分析することが大切だと思いました。

また、様々な分析の方法を知っておくことが大切だと思いました。

野田市（令和6年11月20日）参加者31名

当日の様子と参加者の声



初めての研究主任ということもあり、どのように連携を図ったり、計画を実行したりするのが不透明でした。モデルプランを教えていただいたことので、実践したいと思いました。



自校の研究での課題を再確認することができました。本日の話を聞いて活かせる部分は、積極的に取り入れ、校内研修を更に活性化させていきたいです。



これから求められる人材像を念頭に据えて、各教科等で求められている資質・能力を育成できるように研究や研修を進めていきたいと思いました。